

ネパールの子どもたちの 就学支援

事業計画

日立ロータリークラブ
下館ロータリークラブ
共同提唱



ネパール概要

首都 カトマンズ

人口 3054万7580人(2022年世銀)

面積 14.7万 km²
(北海道の1.8倍)

公用語 ネパール語

通貨 ネパール・ルピー(1円=0.88)

宗教 ヒンドゥー教(81.3%)・仏教(9.0%)

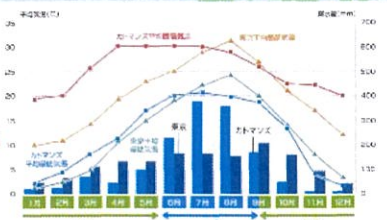
一人当たりのGDP:1,337ドル(2022年世銀)

識字率 71%(2022年世銀)

小学校を卒業する率: 67.5%(2015年、ネパール教育省)
成人識字率: 68%(2009-2014年、ユニセフ)



166位



指標で見るネパールの現状 (2023-2024)

一人あたりGDP(名目) 約USD 1,378

平均月収(名目) 約USD 600

成人識字率 約76%

貧困率 約15%
(国民の1人1日2.15ドル以下で生活)

「後発開発途上国」(LDC)

経済成長率は近年4~6%で推移中

ロータリーの7つの重点分野のひとつ

基本的教育と識字率向上



・2015年国連世界教育フォーラム(インクシオン 京都)より

世界で6000万人の子どもたちが教育を受けていない現実

『万人のための教育』を阻害する要因

貧困

紛争

自然災害

持続可能な良い変化を生むために

日立ロータリークラブ & 下館ロータリークラブは今年度も行動します。

2015 ネパール 大地震

概要

発生 : 2015.4.25

規模 : M7.8

震源: カトマンズ北西約
80 km のゴルカ郡

死者 : 8900人以上

負傷者 : 2万3000人

人口30%にあたる
800万人が被災

子ども達の就学を阻害する大きな要因になっている。

地震の多いネパール



深い爪痕を残す



ネパールの就学・識字率問題について

- ・都市部と村落部の教育格差
- ・特に村落部では教育資材、教師、施設、設備が常に不足している

- ・近くに学校がないため何時間も歩いて通う子どもも多い

- ・特に女性の識字率は近年上昇しているものの6割弱と低い

- ・貧困を理由に初等教育の卒業率が67.5%にとどまる

- ・中等教育への進学率も6割前後にとどまる

- ・主要産業は7割が農業で、GDPの3割は出稼ぎ労働者の送金で占められている

カスタマンドアップ RCとの20年の歩み

- ・下館RCとカスタマンドアップRCが2003-2004年度にツインクラブ締結
- ・2820地区とネパール3292地区は2019-2020年度「新友好地区」締結

日本からの支援

1. 毎年「この指とまれ」で、述べ1万人を越える子ども達に学用品支援
2. MG/GGで学校や病院に浄水設備を設置 (3校、1病院)
3. 2015のネパール大震災で、緊急人道支援 (2820地区義捐金、藤居年度)

ネパールからの支援

1. 2011の東日本大震災で、茨城県立子ども病院に超音波診断装置を設置



2025-26 今年度の計画について

- ・ホスト : 日立RC & 下館RC 2クラブ共同提唱
- ・相手団体 : 第3292地区カスタマングラッパRC
(ネパール・カトマンズ/下館RCツインクラブ 20年間)
- ・事業内容 : 貧困児童への学用品支援(文具・教材・スポーツ用品)
及び点字カレンダー支援

・実行予算

【収入】日立RC 10万円

下館RC 10万円

カスタマングラッパRC 10万円

この指とまれ 60万円

合計 90万円

【支出】文具・教材・スポーツ用品

・点字カレンダー

※RI方針の則り、量の確保、現地経済
支援、紛争予防のため支援品は現地購入
とする。

合計 90万円

ロータリー行動計画

行動を通じて 変化を生みだす

私たちは、ロータリーの使命を達成するために、組織として活動し、ロータリーが世界に与える影響を最大化するために、より効果的に、ロータリーを広げるための戦略的なロードマップを定めます。

私たちは、目標を達成するために、組織として活動し、ロータリーが世界に与える影響を最大化するために、より効果的に、ロータリーを広げるための戦略的なロードマップを定めます。



インパクトを もたらす

私たちは、重点分野に沿って最大のインパクトをもたらすプロジェクトにリソースを注ぎます。

私たちは、ロータリーの活動を記録し、共有するためのツールとプラットフォームを構築するとともに、彼らが多く行き、何を継続、開始、終了すべきかを客観的に見て評価するための評価方法を組み立てています。

基盤を広げる

私たちは、あらゆる活動において「多様性・公平性・インクルージョン」(DEI)を受け入れ、実践することにコミットしています。

私たちは、各自が自分に合った方法でつながりを広げ、行動を起こすための新しい方法を試行しています。

かかわりを促す

私たちは、ロータリー会員であるかどうかを問わず、参加者重視の考え方を促進しています。

私たちは、どのように参加したいのかを人びとに問いかけ、それぞれのアプローチを尊重するとともに、彼ら一人ひとりの価値を認めるロータリーの姿勢を知ってもらうことに努めています。

適応する

私たちは、組織の柔軟性と対応力を高めるために運営の合理化をめざしています。

私たちは、クラブ、地区、ゾーンから多層的にコミュニケーションを図り、協力できるように、物事のやり方を柔軟化し、急激な変化に適応できるように努めています。

クラブでできることを rotary.org/actionplan からご覧ください。



ご協力お願いします。

ご清聴ありがとうございました。



世界を変える行動人



2025-26年度 国際ロータリー第2820地区
「この指とまれ」事業計画

つくば学園RC
国際奉仕総括委員長 村上義孝

○インドネシアの学生向け学用品
支援プロジェクト

インドネシア共和国
西ジャワ州ボゴール市
LPK Cangih Brastel Indonesia
LPK Ganbaru Indonesia
ジョグジャカルタ特別州
SMK Negeri 2 Wonosari



インドネシア共和国（世界4位の人口）

1 面積

約192万平方キロメートル（日本の約5倍）

2 人口

約2.79億人（2023年、インドネシア政府統計）

3 首都

ジャカルタ（人口1,067万人：2023年、インドネシア政府統計）



4 民族

約1,300（ジャワ人、スンダ人、マドゥーラ人等マレー系、パプア人等メラネシア系、中華系、アラブ系、インド系等）

5 言語

インドネシア語

6 宗教

イスラム教 87%、キリスト教 10.4%（プロテスタント 7.4%、カトリック 3%）、ヒンズー教 1.7%、仏教 0.7%



インドネシア人 移住労働者

2018年（コロナ禍前）

日本 458人

韓国 6,912人

シンガポール 18,356人

2024年（コロナ禍後）

日本 12,719人

韓国 10,750人

シンガポール 10,819人



日本に行きたい若者 急増中！



日本語学習教材・文具を支援しよう！



【ボゴール市】 LPK Ganbaru Indonesia
LPK SO Cangghi Brastel Indonesia



日本へ行くことを夢見るインドネシアの若者
たちへのご支援をお願い致します



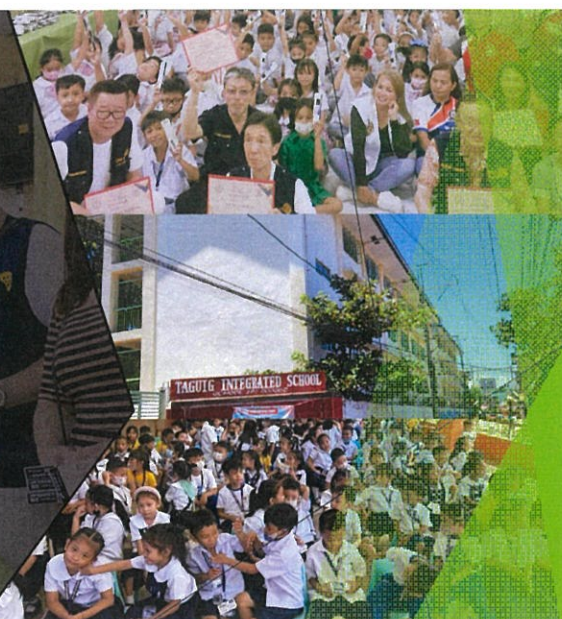
国際奉仕事業 「この指とまれ」

ペンシルプロジェクト

しもだて紫水ロータリークラブ
国際奉仕委員会
大吉 真琴

RID2820地区 ペンシルプロジェクト報告

- ▶ 第23回ペンシルプロジェクト2023報告
- ▶ フィリピン マニラ
- ▶ 2023年7月5日から9日までの5日間
- ▶ RID3810地区マニラ・マギヤップRCと合同で実施
- ▶ マニラ市
- ▶ メルチョーラ アキノ エレメンタリースクール
- ▶ タギグ市
- ▶ イアンターナショナルスクール
- ▶ 小学生の部 2校



RID2820地区 ペンシルプロジェクト報告

- ▶ 第25回ペンシルプロジェクト2024報告
- ▶ フィリピン マニラ
- ▶ 2024年6月19日から23日までの5日間
- ▶ RID3810地区マニラ・マギヤップRCと合同で実施
- ▶ マニラ市

高校
幼稚園



呼びかけ

ペンシルプロジェクトに
ご協力をお願いします。

今回 25 回目になるプロジェクトを 6 月 19 日～23 日の期間
にて実施します。金銭、自宅が使われない品物、消し
ゴム、ノット、ボールペン等の文具など募りでも希少品
でも構いません。また石鹸、タオル等日用品も歓迎します。
提供していただいた品物は RID2820 地区 フィリピン・マニラ・マ
ギヤップ RC を通じてマニラ市内の小学校にお届けします。

6 月 4 日 (火)・11 日 (火)・18 日 (火) の例会にて
集めますのでよろしくお願いいたします。

しもだて紫水ロータリークラブ 会長 百目鬼 芳子
国際奉仕委員長 布目 操

▶ タンザ市 ナショナル・トラッドスクール 中学部



RID2820地区 ペンシルプロジェクト報告

- ▶ 鉛筆 6,000本
- ▶ 他のクラブより鉛筆 500本
- ▶ 下館工業高校 IACよりボールペン 100本
- ▶ 製図道具 20個 三角定規100個
- ▶ その他文房具関係品 100個

を寄贈いたしました

委員会の役割

クラブの活動を通じて、
他国の人々とその文化や
慣習、功績、願い、問題
に対する認識を培う

- ▶ 活動内容
- ▶ 【1. 方針】
個々のクラブの国際奉仕活動を推奨し、より多くのク
ラブが国際奉仕活動に参加できるように推進します。
目標とするキーワードは次の3つです。
- ▶ ① 複数（複数年度・複数クラブ）
- ▶ ② 継続（プロジェクトの継続）
- ▶ ③ 共同（国内・海外のクラブや団体との共同事業）

フィリピンの子どもたち教育事情

▶ コロナ過でひろがる教育格差

2020年の3月から2022年の10月まで、なんと2年半以上幼稚園から大学まで
完全な通学はできない

この期間フィリピンではオンライン、またはモジュールと呼ばれるプリント
学習になる

オンライン授業を受けることができるのは富裕層の子ども
プリント学習していた貧困層の子どもたちとの差がひろがる

オンラインの場合だと先生と話をすることができるので理解しやすい
また、お金を持っている家族は家庭教師を雇える

フィリピンの子どもたち教育事情

▶ コロナ過でひろがる教育格差

オンラインを受けられない貧困家庭の子どもたちはあきらかに学びが遅れる
プリント学習は本人がせずに親や兄妹が回答するのでいい加減な時期が続く
プリントも学校に返す、それは他の生徒用に使用する
そのため汚すことはできない、答案も別の紙に書いて提出。

フィリピンの子どもたち教育事情

▶ コロナ過でひろがる教育格差

基礎学力の低下

国際教育到達度評価学会(IEA)2003年調査

14歳(日本の中学2年生相当)で、数学が参加国46カ国中42位、
理科が46カ国中43位

これは12年間分の内容を10年間で詰め込むため、教育の質が低下

フィリピンの子どもたち教育事情

▶ コロナ過でひろがる教育格差

就職問題

フィリピンの成人年齢は18歳

高卒時は16歳 16歳では精神的にもまだ未成熟

経験不足とみなされその後の雇用機会にも恵まれず、失業状態が続く

フィリピンの失業者の約3割は高卒の学歴

失業者の半分以上が15-24歳の若者たちです。

フィリピンの子どもたち教育事情

▶ コロナ過でひろがる教育格差

海外との制度の違いがもたらす不利益

12年間の基礎教育を条件とする海外の大学に直接進学できない

2年間、国内の大学に在学し時間をかける

国内では専門知識を持つエンジニアも、海外では基礎教育が不足していると
判断 一段階下のテクニシャン扱いになる

フィリピンでは小学校の段階から中途退学する子供が多く、
家が貧しく家計を助けるために働く

そうでなくても学習意欲を失い学業を続けられない

小学校に入学しても6年間最後まで通い続けられるのは7割程度

フィリピンの子どもたち教育事情

▶ 生まれ変わったフィリピンの教育事情

学習意欲が高い生徒がいるのも事実

日本に比べると学校も生徒同士に競争意識をもたせるために、テストの結果を教室に張り出す

→「あのひとには負けたくない」という気持ちが働きより頑張る

(判断は分かれるが、結果的には飛び抜けて学習レベルの高い子供がでる)

フィリピンでは2016年から幼稚園の年長から高校卒業までが義務教育なので学費は無料に(これをK-12と呼ぶ)

フィリピンの子どもたち教育事情

▶ 生まれ変わったフィリピンの教育事情

2019年、日本では大学等進学者数は約57万5,000人(前年-3,346人)
男性は約27万4,000人、女性は約30万1,000人
フィリピンでは同じ年、およそ250万人が大学に進学

フィリピンの教育事情の中で、子どもたちが小さいときから大人になったら何になりたいかをイメージさせる
その職業は年齢とともにかわりますが、案外その目標をもっているから頑張っている生徒もいます。

フィリピンの子どもたち教育事情

▶ フィリピンの教育制度の改革着手

フィリピン政府は基礎教育の拡大に動く

新たな制度は中等教育を2年間上積み

5歳児(Kindergarten、日本でいう幼稚園年長組)から公的教育を開始する

「K to 12」(幼稚園1年間、小学校6年間、中学校4年間、高校2年間)の制度

Kとは幼稚園のことで、小学校に上がる前の1年間、

すべての子どもは幼稚園に通わないと小学校に入学不可に

フィリピンの子どもたち教育事情

▶ フィリピンの教育制度の改革着手

学校に通える子どもたちは幸せ

フィリピンの学校に通わない不登校20万人

日本の小学校での不登校生徒数は約3万人

日本の中学生の不登校生徒はおよそ11万人

フィリピン(中学高校の年齢の子どもたち)は40万人
その多くは貧困が原因



最後に

国際奉仕活動には時間、資金、人手、信頼できるパートナー等が不可欠なため難しい面もあるかと思えます。

一方、国際奉仕は援助を受ける側のみが恩恵を受けるわけではなく、奉仕に参加した私たちロータリアンも困っている方々の喜ぶ姿に触れることにより大きな感動という恩恵を受けるものであります。

このような国際奉仕活動に一つでも多くのクラブが参加し尊い経験ができることを願い、国際奉仕委員会は情報の共有と事業環境の整備のお手伝いをさせていただきますと記載されていました。

ご清聴ありがとうございました

- ▶ ROI 2820地区
- ▶ しもだて紫水ロータリークラブ

古河 R C 古河東 R C 古河中央 R C

国際奉仕委員会 合同プロジェクト

協賛：NPO法人 SB.HEARTSTATION 様



目次

1. プロジェクトの概要
2. タイの現状とニーズ
3. プロジェクトの目的
4. 実施計画とステップ

プロジェクトの概要



タイへの希望の架け橋プロジェクトは、**貧困層**の子供達の生活向上を目指しています。このプロジェクトは日本とタイの**文化交流**を通じて、相互理解を深めることを助けます。また、教育や経済的な支援を提供することで、持続可能な発展を促進します。

認定特定非営利活動法人SB.HeartStation 様
より物資無償提供

靴・衣類・サッカーボール・文房具等



SB.HeartStationの活動



日本の子どもたちが
使わなくなった
靴・衣類・文房具を贈る

支援



靴がなくて学校に行けない。
着ていく服もない・・・



タイ・メーホンソン県の子どもたちの靴



2024年度の実績【仕分け作業ボランティア】

仕分け作業・コンテナ輸送準備ボランティア
参加人数：165名



靴や服が必要とされている理由

靴や服、文房具を買えず、通学を諦めざるを得ない子どもたち。



2024年度の実績【靴の収集】

2024年度
【寄付品の収集数】

靴：3,581足
衣類：5,575着
文房具：4,488点
その他：195点

寄贈者：229名



SB.HeartStationの活動



日本の子どもたちが
使わなくなった
靴・衣類・文房具を贈る

支援



靴がなくて学校に行けない。
着ていく服もない・・・



2024年度の実績【仕分け作業ボランティア】

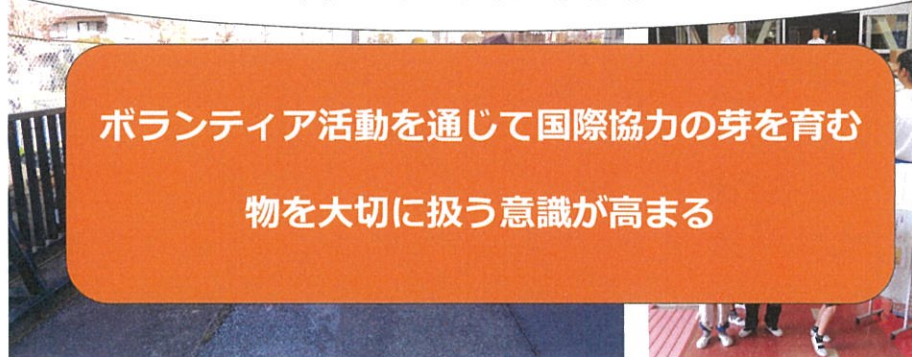
仕分け作業・コンテナ輸送準備ボランティア
参加人数：165名



誰にでもできる国際協力活動

日本の子どもたちが身近なもので
自主的に参加できる

ボランティア活動を通じて国際協力の芽を育む
物を大切に扱う意識が高まる



コンテナ積み込み～レムチャバン港到着

2024年10月 さいたま市岩槻
20フィートコンテナにて260箱を輸送



11月タイ・レムチャバン港到着
タイ各地に靴を配送



タイ手渡しツアー

12/4(水)クンユアムウィタヤー校



2024度 SB.HeartStation 活動報告会



2024年度タイ贈呈 収支報告書

タイ収支報告		
作業費	¥ 14,882	手渡しツアーボランティア昼食代 現地ロータリアンに協力依頼
	¥ 74,800	現地仕分け詰め替え作業、搬入支援等 現地ロータリアンに協力依頼
車両・燃料費	¥ 45,210	レンタカー、ガソリン代
	¥ 432,197	久喜市→レムチャバン港→現地倉庫まで（20フィートコンテナ260箱）
交通費	¥ 375,257	通関費用（日本税関検査費用、現地輸入者登録、税関登録、税関交渉費用等） 現地ロータリアンによる減額交渉中
	¥ 175,000	タイ国内輸送費（ランブーン、チェンマイ、チェンライなど）
	¥ 104,573	事務局渡航費、事務局・コーディネーター運転手宿泊代
	¥ 68,157	輸入者手数料
手数料	¥ 173,474	現地協力者コーディネーター料 現地ロータリアンに協力依頼
	¥ 4,140	海外送金手数料
合計	¥ 1,467,690	約 ¥ 1,050,000(目標)

どのような協力体制？

- 日本側：古河ロータリークラブ／古河中央RC／古河東RC
- 協力団体：NPO法人 SB.Heart Station（物品の提供・仕分け）
- タイ側：3350地区ブンクム R C
（輸送品の受取、通関、配布支援、学校との調整）
- 現地ロータリーとの連携により、**信頼性**と**透明性**の高い支援の実現を目指します

3350地区ブンクム R C



古河中央RCとブンクムRCは友好クラブで、何年も交流を深めてきました

プロジェクト概要

- 支援物資：靴や衣類等 260箱 20フィートコンテナ
- 予算(目標)：105万円
- 支援地域：3350地区ブンクム R Cが調査中
- 日程：秋頃(予定)

2024年度の実績【靴の収集】

2024年度
【寄付品の収集数】

靴：3,581足
衣類：5,575着
文房具：4,488点
その他：195点

寄贈者：229名



プロジェクト成功させるには

最後に、このプロジェクトは**この指とまれ**による協力なくしては成り立ちません。

このプロジェクトが日本とタイの良い未来を築く鍵となることを信じております。

皆様のご協力、ご支援をお願い致します。

ご清聴ありがとう
ございました



Rotary

世界を変える行動人



⑤ 水戸南

水戸南ロータリークラブ

2025-26「この指止まれ」事業の提唱

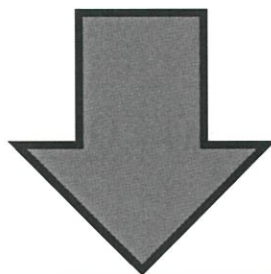
<過去の国際奉仕活動>

中古消防自動車贈呈事業

中古救急車贈呈事業

浄水器贈呈事業

人工透析器贈呈事業



水戸南ロータリークラブが主体的に国際奉仕活動を計画して

不明瞭だった経費などを可視化したい

中古車いすの選定理由:

- 「希望の車いす」で整備済み
- 出国時通関手続き不要
- 機内持ち込み ⇒ 追加航空運賃不要
- 入国時通関手続き不要
- タイ製車いすの使いにくさを地方病院で確認 ※透析患者



贈呈事業にいくらかかるか？

<日本国内運搬費用>

¥ 50,000/台×6 台≒300,000 円

<タイ国内運搬費用>

¥ 50,000/台×6 台≒300,000 円



スポンサーシップ提案:3D プリンティング による触覚学習の強化

スキルトレーニングによる視覚障害者の エンパワメント

投稿者:

ガーニートレーニングセンター(GTC)

エグゼクティブサマリー

マレーシア盲人協会(MAB)は、1951年に設立された組織で、視覚障害者(BV)コミュニティが持続可能な開発目標 10(SDG)(不平等をなくす)の下で私たちと同じ生活の質を享受できるように、視覚障害者(BV)コミュニティに平等な機会を創出しています。上記の願望のイニシアチブとして、MAB は視覚障害者コミュニティのためのトレーニングセンターを通じて平等な機会を提供しています。

マレーシア盲人協会(MAB)のガーニートレーニングセンター(GTC)は、マレーシア人的資源省のスキル開発局(JPK)に登録された認定トレーニングセンターで、マレーシアのスキル証明書プログラムを実施しています。1953年の設立以来、ガーニートレーニングセンターは、マレーシアの視覚障害者にフルタイムのスキルプログラムを提供する認定センターの1つです。

MABのメイントレーニングセンターとして、GTCは、オフィス管理、システムコンピュータ操作、マッサージ療法、リフレクソロジー、オーディオ制作など、さまざまな分野で視覚障害者のトレーニングに重要な役割を果たしています。包括的なトレーニングプログラムの一環として、持続可能な雇用につながる市場性のある実践的なスキルを研修生に提供しています。

トレーニングセンターの主な目的は、トレーニングが効果的に実施されるように、有益なトレーニング環境を提供することです。このアプリケーションの目的は、視覚障害者の研修生の実践的な学習と空間理解を強化する触覚解剖学的モデルを作成することです。

福祉に依存する組織として、MAB は各プログラムに十分な適切なツールを提供することができません。したがって、研修生がトレーニングプログラムを完了するのに十分な適切なツールと機器を持っていることを確認するために、思いやりのある当事者からの寄付が必要です。

このプログラムの学習体験と効果をさらに高めるために、3D プリンターのスポンサーを募集しています。この技術により、研修生が触覚を通じて人体をよりよく理解するのに役立つ触覚解剖学的モデルを作成することができます。これは、治療マッサージの将来のキャリアにとって重要です。

背景とニーズ

マッサージ療法は、筋肉群、骨格構造、神経経路、およびツボに関する正確な知識を必要とする非常に触覚的な職業です。目に見える研修生は視覚的な図表に頼ることがよくありますが、視覚障害のある学習者は口頭での説明や限られた物理モデルに頼らざるを得ません。

2019年から約10年が経過したガーニートレーニングセンターでは、すべてのマッサージ療法とリフレクソロジーの研修生に解剖学と生理学の科目を再導入しています。このテーマは、安全で効果的、かつ専門的なマッサージとリフレクソロジーの実践のための科学的基盤を提供します。この知識がなければ、治療は熟練した医療サービスではなく、当て推量に過ぎません。

現在、当校の講師は、適切な触覚教材なしでは複雑な解剖学的概念を伝える上で大きな制限に直面しています。これにより、理解にギャップが生じ、研修生が就職する際の自信と準備が低下します。

解決策:インクルーシブな学習のための3Dプリンティング

3Dプリンターを使用することで、Gurney Training Centre は以下を設計および製造できるようになります。

1. 足、手、筋肉、関節の解剖学的モデル
2. リフレクソロジートレーニングのためのカスタム触覚マップ
3. 治療技術をシミュレートするインタラクティブモデル

これらのモデルは、触覚探索に特化して適応されており、研修生は触覚を通じて空間的な関係と構造を学ぶことができます。彼らは、マッサージ療法の習得の鍵である暗記と筋肉の記憶の両方をサポートする実践的な方法で人体の複雑さを探求することができます。

研修生にとってのメリット:

1. 理解の向上:人体の解剖学とリフレクソロジーゾーンのより良い理解
2. 自信の向上:トレーニングの強化は、仕事の準備の向上につながります
3. アクセシビリティ:視覚障害者の教育の場を平準化
4. 適応性:モデルは、必要に応じて再作成、サイズ変更、またはカスタマイズできます

なぜあなたのスポンサーシップが重要なのか

このイニシアチブを後援することで、あなたの組織は直接以下に貢献します。

1. 教育の公平性とインクルージョン
2. 視覚障害者のエンパワメント
3. 健康・ウェルネス分野における労働力開発

あなたのサポートは、次の方法でも認識されます。

1. トレーニングセンターとウェブサイトでの目立つ評価
2. メディア報道やコミュニティイベントでのブランドの認知度
3. 学生の成果と成功事例を紹介するインパクトレポート

予算要求

私たちは、以下の費用を賄うためのスポンサーシップを求めています。

1. プロ仕様の3Dプリンター1台(概算:2,000ドルから4,000ドル)
2. フィラメントと印刷材料1年間(概算: \$500)
3. 基本的なCADソフトウェアライセンスとスタッフトレーニング(見積もり:500ドル)

推定スポンサーシップ総額: \$3,000-\$5,000 または MYR14,100.00-23,500.00

*概算換算(2025年5月現在):1米ドル=MYR4.70

ガーニートレーニングセンターについて

ガーニートレーニングセンターは、設立以来、視覚障害者のための機会のビーコンとなっています。私たちの使命は、実践的なスキルトレーニングを通じて、自立心、尊厳、雇用適性を育むことです。何千人もの卒業生が、特に視覚障害者の持続可能な収入を得るための証明された手段であるマッサージ療法において、有意義なキャリアに進んでいます。

2024年、ガーニートレーニングセンターは、55人のマッサージ施術者を含む144人の研修生に、さまざまなスキルとトレーニングプログラムを訓練しました。彼らはさまざまなバックグラウンドを持ち、マレーシア全土から来ています。統計情報に基づくと、少なくとも85%が2024年に雇用市場に参入し、コンピテンシー分野で雇用を得ました。研修生の約90%は、学習した科目に基づいて3~6か月以内に仕事に就きました。また、トレーニング中に学習した追加のスキルを通じて収入を増やすこともできます。

クロージングステートメント

この3Dプリンティングの取り組みは、単なる技術的なアップグレードではなく、教育をアクセシブルで、インクルーシブで、インパクトのあるものにするという

私たちの中核的な使命に沿った変革ツールです。私たちは、一度に1つのモデルで、より公平な学習環境を作成するために、私たちとパートナーになることを勧めます。

この機会に具体的な変化をもたらすことを検討していただき、

ありがとうございます。

マズリファ・ビンティ・サジャディ

マネージャー-ガーニートレーニングセンター

電話番号: +6018-9464760

Eメール: mazlifah@mab.org.my

付録I



写真1-3:

解剖学&生理学の授業で、Huzaifah氏がガーニートレーニングセンターの研修生と行った実践的なセッション



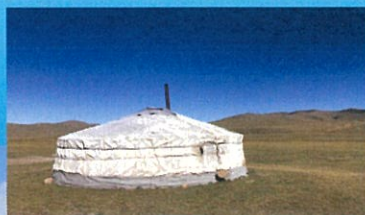
写真4-5:

解剖学研究室は、解剖学および生理学の科目における理論的および実践的な活動に使用されます

モンゴルの公立学校への 図書館プロジェクト

境ロータリークラブ

モンゴルとはどのような国



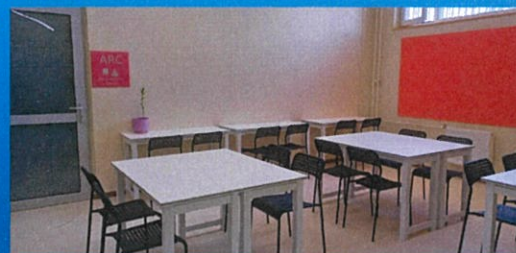
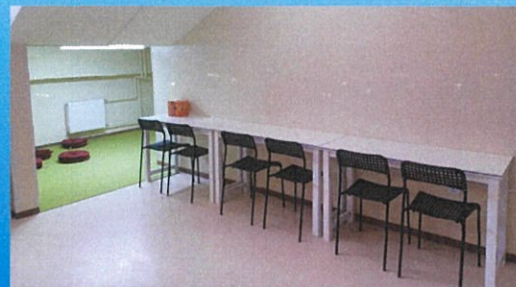
境ロータリークラブは、ウランバートル市
NARA区 (ウランバートル市から30キロ)に
新設された公立学校 **第109小中高一貫学校**の
図書館に本・その他学用品の寄贈支援をします。

支援金 50万円

クラブ予算 250,000円
賛助金予算 250,000円



第109小中高一貫校
生徒数 921名



8月30日出発 9月2日帰国
9月1日 贈呈式予定

一緒にモンゴルに行きましょう

モンゴルの公立学校への 図書館プロジェクト

に賛助金のご支援を宜しくお願い致します